

講義名	社会学基礎		
科目区分	学部専門基礎 必修		
担当教員	桑原 桃音		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	23067

主題と概要

社会学は、世の中に起こるあらゆる現象について、科学的に調べる学問である。科学的というのは、いつ誰が調べても同じ結果となるパターンを見つけ、そこから原因を説明し、結果を予測する、ということの意味する。社会学は、社会で生じている現象に注目して、その原因や問題解決の方法を探る。この講義では、現代社会を解き明かすために必要な道具（社会学理論の基礎）を学ぶこと、実際に道具を使って社会を読み解くことを目的とする。

到達目標

- 社会学の基礎的な考え方を理解できる
- 社会学の視点で社会を眺める基礎的な構えが身に付く

提出課題

講義中に不定期でコメントペーパーや課題の提出を課す。

評価の基準

- 平常点（講義内のペーパーや課題の提出）30%
- 定期試験70%

履修にあたっての注意・助言他

講義中の私語は厳禁とする。ルールを守らない受講者には退出を求めるので注意すること。
講義中は毎回 Respon というアプリを利用するので、初回授業の指示に従って速やかに準備を整えること。

教科書

.大学生のための社会学入門 日本学術会議参 篠原清夫・栗田真樹編 見洋書房 2200 978-4-7710-照基準対応

プリント資料及び参考文献

資料は講義中に必要に応じて配布する。参考文献も講義中に適宜指示する。講義では、理解を深めるため、映像資料やウェブ上のサイトなども利用する。

授業計画

1. イントロダクション
2. 社会学とは何か
3. 社会で生きる「私」
4. 変容する家族のかたち 1
5. 変容する家族のかたち 2
6. 生活空間としての地域社会学
7. 「現実を生きる」ための社会学
8. 社会の中のメディア / メディアが動かす社会
9. 性の多様なありかた 1
10. 性の多様なありかた 2
11. 「格差」の社会学
12. 社会学は教育とどう向き合うのか
13. 逸脱と社会問題
14. 社会学から医療を見つめる
15. まとめ

予習・復習

講義に出席するだけでは、十分な理解は得られない。知識として定着させるには、予習・復習は不可欠となる。次回講義に学習する教科書該当箇所を読んでおくこと。また、受講後に資料やノートを見直し、知識を整理し、わからないことを質問できるようにしておくこと。

備考

講義は2クラス開講されるので、指定されたクラスに出席すること。